

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第20週の発生動向

### □今週のトピックス

・**麻しん**(全数把握対象)の報告が1例あった(2014年34週以来の報告)。宮崎市保健所管内からの報告で、20歳代女性、海外渡航歴があった。ワクチン接種歴は2歳時に1回目を接種し、2回目は接種していなかった。

※この方は、5月17日に宮崎空港を利用されています。5月17日13時~15時に宮崎空港を利用された方で、発熱、発疹のある方は、受診前に医療機関または保健所へ必ず連絡ください。

### □ 全数報告の感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。  
5類感染症：急性脳炎1例、破傷風1例、麻しん1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	都城	90歳代	男	疑似症患者	発熱、呼吸困難
		日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	-
5類	急性脳炎	日南	80歳代	女	インフルエンザウイルスB	発熱、嘔吐、項部硬直、痙攣、意識障害
	破傷風	都城	40歳代	男	-	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、呼吸困難(痙攣性) ワクチン接種歴：不明
	麻しん	宮崎市	20歳代	女	検査診断例	発熱、咳、結膜充血、発疹 ワクチン接種歴：1回目有り(2歳時) 2回目無し 海外渡航歴：有り

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

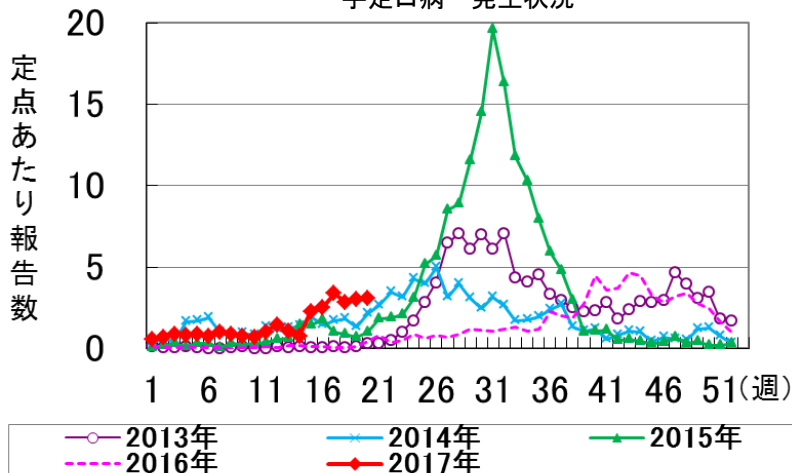
・定点医療機関からの報告総数は706人(定点当たり21.4)で、前週比93%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

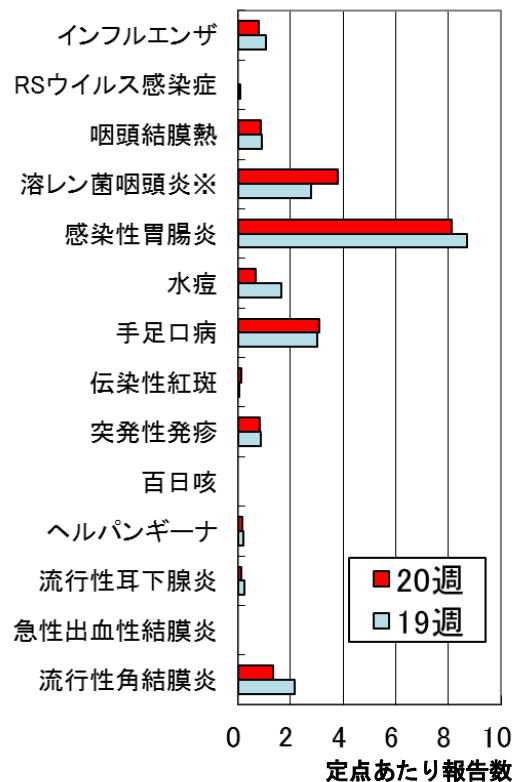
#### 【手足口病】

報告数は112人(3.1)で、前週比104%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.81)の約3.8倍である。中央(19.0)、都城(7.2)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約6割を占めた。

手足口病 発生状況



### 《前週との比較》

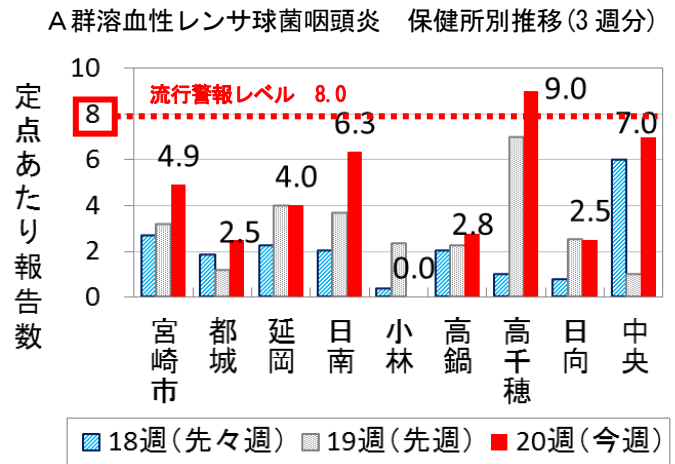
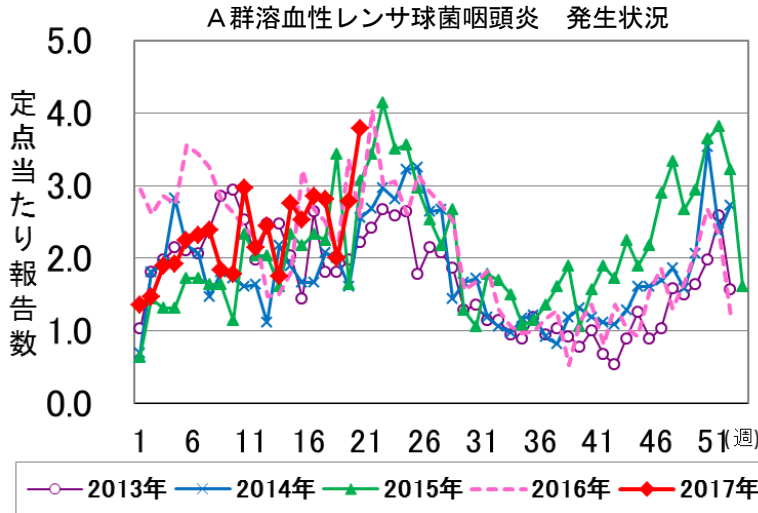


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は136人(3.8)で、前週比136%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(2.8)の約1.3倍である。高千穂(9.0)、中央(7.0)、日南(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別は3~7歳が全体の約6割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

- マイコプラズマ肺炎：高鍋保健所から2例報告があり、0~4歳であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：延岡(5例)、宮崎市、日南、日向(各1例)保健所から報告があり、0~4歳が5例、5~9歳が3例であった。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(7.2)
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
日向	なし
中央	手足口病(19.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成29年5月22日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	10歳代	女	2017.04.27	胃腸炎(下痢)	便	2017.05.10
<i>Neisseria meningitidis</i> 血清群不明(髄膜炎菌)	30歳代	男	2017.04.21	髄膜炎菌疑	尿	2017.05.09
<i>Bordetella parapertussis</i> (パラ百日咳菌)	0~4歳	女	2017.05.01	鼻汁、咳	咽頭ぬぐい液	2017.05.09
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0~4歳	男	2017.05.10	—	便	2017.05.18
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	40歳代	女	2017.05.10	—	便	2017.05.18

## ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
麻疹ウイルス	20歳代	女	2017.05.17	麻疹疑い、蚊媒介性感染症疑い、39.6℃、 発疹、上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)、肝機能障害	咽頭ぬぐい液 尿 血液	2017.05.18
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	女	2017.04.06	インフルエンザA、39.4℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.05.12
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2017.04.10	インフルエンザA、40.1℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.05.12
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2017.03.14	インフルエンザA型、40.0℃	咽頭ぬぐい液	2017.05.16
インフルエンザウイルスAH3	50歳代	女	2017.03.14	インフルエンザA型、37.1℃、頭痛、関節痛	鼻汁	2017.05.16
インフルエンザウイルスAH3	70歳代	女	2017.03.15	インフルエンザA型、37.6℃、関節痛、関節炎、 上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)	鼻汁	2017.05.16
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5～9歳	女	2017.04.10	インフルエンザB型、38.5℃、頭痛	咽頭ぬぐい液	2017.05.12
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5～9歳	男	2017.04.10	インフルエンザB型、39.9℃	鼻汁	2017.05.12
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5～9歳	女	2017.04.14	インフルエンザB型、38.5℃、上気道炎(咽頭痛)	鼻腔咽頭 ぬぐい液	2017.05.12
インフルエンザウイルスB (山形系統)	5～9歳	女	2017.03.17	インフルエンザB型、38.6℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻腔咽頭 ぬぐい液	2017.05.16
インフルエンザウイルスB (山形系統)	40歳代	女	2017.04.11	インフルエンザB型、38℃、咽頭炎、肺炎	鼻汁	2017.05.12
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2017.04.24	不明熱、40.0℃、下気道炎(気管支炎)、 胃腸炎(下痢)、発疹(紅斑:手掌、足底)	咽頭ぬぐい液	2017.05.10
ライノウイルス	5～9歳	男	2017.04.06	急性上気道炎、38.3℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻腔咽頭 ぬぐい液	2017.05.10
RSウイルス	0～4歳	女	2017.03.11	RSV感染症、不明の発疹症、42.0℃、 熱性けいれん、下気道炎、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.05.11
パラインフルエンザウイルス1型	0～4歳	女	2017.03.03	集団かぜ、39.0℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2017.05.11
ロタウイルス アデノウイルス5型	0～4歳	男	2017.04.24	感染性胃腸炎、38.3℃、下痢	便	2017.05.16
ヒトヘルペスウイルス6	10歳代	男	2017.03.19	DIHS疑い、副甲状腺機能低下症、38.0℃、 筋肉痛、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.05.10
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.04.11	手足口病、38.3℃、丘疹	咽頭ぬぐい液	2017.05.19
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.03.08	手足口病、口内炎、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.05.19
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.03.10	ヘルパンギーナ、39.0℃、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2017.05.19
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.02.13	伝染性紅斑、手足口病、38.0℃、口内炎、 発疹(丘疹・紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.05.19

○麻疹疑いと診断された患者から麻疹ウイルスが検出された。麻疹の検査は検体として、咽頭ぬぐい液、血液、尿を用いる。N(核タンパク質)およびH(ヘマグルチニン)遺伝子のRT-nested PCRを実施した結果、全ての検体から麻疹ウイルスが検出された。県内では2012年に、タイから持ち込まれたD8型による麻疹集団発生事例が起こっている。麻疹ウイルスの感染力は非常に強く、麻疹の潜伏期間を考慮すると、ワクチン未接種者等が接触していた場合、5月末に発症する可能性が高いことから、今後の動向には十分注意する必要がある。

○感染性胃腸炎と診断された乳児1名からロタウイルスとアデノウイルス5型が検出された。当所では、ロタウイルスを遺伝子検査で検出しており、この患者はロタウイルスのワクチンを接種していたことから、ロタウイルスの遺伝子が検出されても、その遺伝子がワクチン株由来か、野生株由来かは注意して判断する必要がある。

## 🇯🇵 全国 2017 年第 19 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 19 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	355 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	25 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E 型肝炎	12 例	A 型肝炎	11 例	重症熱性血小板減少症候群	8 例
	つつが虫病	8 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	2 例
	レジオネラ症	26 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性肺炎球菌感染症	83 例
	水痘（入院例）	6 例	梅毒	93 例	麻しん	3 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 129%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

R S ウイルス感染症の報告数は 636 人 (0.20) で前週比 105%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (0.11) の約 1.8 倍である。沖縄県 (1.8)、富山県 (0.55)、北海道 (0.53) からの報告が多く、年齢別では 1 歳以下が全体の約 8 割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は 630 人 (0.91) で前週比 160%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (0.58) の約 1.6 倍である。鹿児島県 (4.4)、愛媛県 (2.5)、宮崎県 (2.2) からの報告が多く、年齢別では 30 歳代が全体の約 2 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第20週(5月15日～5月21日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	64	47	12	2	16	6	3	7		1	
	定点あたり	1.08	0.80	0.75	0.20	2.29	1.20	0.60	1.17	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	33	31	6	5	6	6	3	1		2	2
	定点あたり	0.92	0.86	0.60	0.83	1.50	2.00	1.00	0.25	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	100	136	49	15	16	19		11	9	10	7
	定点あたり	2.78	3.78	4.90	2.50	4.00	6.33	0.00	2.75	9.00	2.50	7.00
感染性胃腸炎	報告数	313	292	90	44	29	38	30	9	1	45	6
	定点あたり	8.69	8.11	9.00	7.33	7.25	12.67	10.00	2.25	1.00	11.25	6.00
水痘	報告数	60	24	5	2	10	1	2			4	
	定点あたり	1.67	0.67	0.50	0.33	2.50	0.33	0.67	0.00	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	108	112	18	43	2	7	6	10		7	19
	定点あたり	3.00	3.11	1.80	7.17	0.50	2.33	2.00	2.50	0.00	1.75	19.00
伝染性紅斑	報告数	2	5	1	1	3						
	定点あたり	0.06	0.14	0.10	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	30	11	6	4	2	1	3		2	1
	定点あたり	0.86	0.83	1.10	1.00	1.00	0.67	0.33	0.75	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	8	6	3			1		2			
	定点あたり	0.22	0.17	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	5	1		3					1	
	定点あたり	0.25	0.14	0.10	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	8	5	1	2						
	定点あたり	2.17	1.33	1.67	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	2						2			
	定点あたり	0.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	7	8	1		5	1				1	
	定点あたり	1.00	1.14	1.00	0.00	5.00	1.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～20週)

2類感染症	結核	84例(2)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例			
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病 6例
	レジオネラ症	3例			
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例	急性脳炎 3例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	1例	梅毒 5例
	破傷風	2例(1)	麻しん	1例(1)	

( )内は今週届出分、再掲